

『天皇杯』令和元年度全日本レスリング選手権大会



すみ まさと
グレコローマン 87kg 級 3等陸曹 **角 雅人**

あかくま なおや
フリー 97kg 級 2等陸尉 **赤熊 猶弥**

おとくろ けいすけ
フリー 74kg 級 2等陸曹 **乙黒 圭祐**

体育学校レスリング班

制覇
5つの階級を

令和元年12月19日から22日までの間、東京都駒沢体育館で天皇杯令和元年度全日本レスリング選手権大会が行われた。体育学校からは岡太一 1等陸尉以下レスリング班 OB を含めた38名が出場した。まだ五輪出場者が未内定の階級には出場階級を変更した強豪選手がひしめき、五輪直前特有の大波乱が数多く巻き起こった。かつての五輪メダリストが敗れるという波乱のなか、全30階級のうち体育学校の選手が5つの階級で優勝の成果を取った。

大会3日目、男子グレコローマン67kg級では2019年世界選手権63kg級を制した太田忍選手(ALSOK)を井ノ口崇之 3等陸曹が開始から2分10秒、投げ技を決めテクニカルフォール(規定の得点差による勝利)で大勝利し波乱を起こすと、同日の男子フリースタイル74kg級では、今年世界選手権5位で同別出場枠を獲得した奥井眞生 2等陸曹が、まさかの初戦敗退。また、同階級準々決勝まで勝ち上がった高谷大地 3等陸尉は準決勝で、本大会2連覇中で2018年アジア大会3位の藤波勇飛選手(ジャパンビバレッジ)に積極的な攻撃をして得点を重ね、開始2分17秒、15対5のテクニカルフォールで勝利した。高谷3尉と井ノ口3曹の両名は惜しくも優勝を逃したが、次々と巻き起こる波乱の展開に観客の客席は大いに沸いた。

勝ち上がった高谷大地 3等陸尉は準決勝で、本大会2連覇中で2018年アジア大会3位の藤波勇飛選手(ジャパンビバレッジ)に積極的な攻撃をして得点を重ね、開始2分17秒、15対5のテクニカルフォールで勝利した。高谷3尉と井ノ口3曹の両名は惜しくも優勝を逃したが、次々と巻き起こる波乱の展開に観客の客席は大いに沸いた。

FREESTYLE

2月のプレーオフで **乙黒** 奥井 2曹と代表争い

男子フリースタイル74kg級に出場した乙黒圭祐 2等陸曹は1回戦をフォール(相手の両肩を1秒間マットに付ける)で圧倒し勢いに乗った。準々決勝では4ポイントを取られ苦しい展開となったが、粘り強く攻め続け4ポイントの差を逆転し勝利を決めた。準決勝は同門の保坂健 2等陸曹との対戦。保坂2曹の1ポイントリードで劣勢の試合運びだったが、1ポイントを取り返すとラストポイント※2で優勢勝ちし決勝に駒を進めた。迎えた決勝の相手は同門対決の高谷3尉。互いに積極的に行き詰った攻防戦を見事に制し、61kg級、70kg級を合わせ3階級で2年ぶり3度目の全日本王者に輝いた。2月に行われるプレーオフで同階級世界選手権代表の奥井2曹と五輪出場をかけた戦い。試合後乙黒2曹は、「自分のスタイルを貫いて結果につながった。次のプレーオフで勝つために今から仕切り直し、もっと強化できるように頑張りたい。」と語った。

ポイントの大技を成功させビッグポイント※1で勝利を決めた。準決勝は同門の保坂健 2等陸曹との対戦。保坂2曹の1ポイントリードで劣勢の試合運びだったが、1ポイントを取り返すとラストポイント※2で優勢勝ちし決勝に駒を進めた。迎えた決勝の相手は同門対決の高谷3尉。互いに積極的に行き詰った攻防戦を見事に制し、61kg級、70kg級を合わせ3階級で2年ぶり3度目の全日本王者に輝いた。2月に行われるプレーオフで同階級世界選手権代表の奥井2曹と五輪出場をかけた戦い。試合後乙黒2曹は、「自分のスタイルを貫いて結果につながった。次のプレーオフで勝つために今から仕切り直し、もっと強化できるように頑張りたい。」と語った。



フリースタイル 74kg 級 乙黒 2曹
同門対決を勝ち抜き 2年ぶり3度目の優勝

お互い手の内を知り尽くした同門の高谷3尉に勝利し、優勝を遂げた乙黒2曹(左)



フリースタイル 97kg 級 赤熊 2尉
因縁の対決を制し 3年連続4度目の優勝

負けられない一戦を勝ち抜いた赤熊2尉(右)

因縁対決を制し **赤熊** 強さを見せた

男子フリースタイル97kg級の赤熊猶弥 2等陸尉は第1シードで準々決勝からの出場。園田平 2等陸曹との同門対決では相手に1ポイントも与えず勝利すると、準決勝でも6ポイント差で勝利し順調に決勝戦進出を決めた。決勝の相手は昨年と同じく山口剛選手(ブシロード)で、絶対に負けられない一戦となった。赤熊2尉は序盤から相手に一切の隙を与えず、プレッシャーをかけ続けた。強い気持ちで攻め抜きポイント2対0で勝利。2年連続3度目の優勝を決めた。試合後赤熊2尉は、「勝てたが納得はしていない。何度も対戦してお互いを知っているので、攻めきれなかったのは相手も同じ。プレッシャーをかけたことで勝利に繋がった。」と試合を振り返り、「3月のアジア予選で五輪出場枠を取って出場を目指したい。」と語った。

GRECOROMAN

鉄壁の守り 王者の貫禄見せた **角**

男子グレコローマン 87kg 級の角雅人 3等陸曹は、第1シードで準々決勝からの出場。初戦をテクニカルフォールで勝ち進むと、準決勝も4ポイント差で決勝へと駒を進めた。決勝の相手は鶴田峻大 3等陸曹と昨年と同じ同門対決となった。角3曹に最初のパッシビティ※3が与えられ鶴田3曹が1ポイントを取らされるも、続くパーテレポジション※4で鶴田3曹からの攻撃を見事に守り抜いた。第2ピリオドで鶴田3曹にパッシビティが与えられると、角3曹は鶴田3曹に対しパーテレポジションを選択。投げ技で角3曹が4ポイントの大技を決めポイント6対1で勝利し、80kg級での優勝と合わせて3年連続4度目の優勝を果たし王者の貫禄を見せた。試合後角3曹は、「今までの勝利の中で一番嬉しい。リオの予選では1回戦で負けて自分に自信が持てなかったが、今は自分に自信がある。このチャンスを生かしてオリンピック出場を目指したい。」と今後の決意を語った。

決勝からの出場。初戦をテクニカルフォールで勝ち進むと、準決勝も4ポイント差で決勝へと駒を進めた。決勝の相手は鶴田峻大 3等陸曹と昨年と同じ同門対決となった。角3曹に最初のパッシビティ※3が与えられ鶴田3曹が1ポイントを取らされるも、続くパーテレポジション※4で鶴田3曹からの攻撃を見事に守り抜いた。第2ピリオドで鶴田3曹にパッシビティが与えられると、角3曹は鶴田3曹に対しパーテレポジションを選択。投げ技で角3曹が4ポイントの大技を決めポイント6対1で勝利し、80kg級での優勝と合わせて3年連続4度目の優勝を果たし王者の貫禄を見せた。試合後角3曹は、「今までの勝利の中で一番嬉しい。リオの予選では1回戦で負けて自分に自信が持てなかったが、今は自分に自信がある。このチャンスを生かしてオリンピック出場を目指したい。」と今後の決意を語った。



グレコローマン 87kg 級 角 3曹
2年連続の同門対決を制し 3年連続4度目の優勝

パーテレポジションからの攻撃を見事に守り抜いた角3曹(右)

- ルール one point!**
- ※1 ビッグポイント
同得点の場合、得点細軸の高さによる決定
 - ※2 ラストポイント
同得点の場合、最終ポイント獲得による決定
 - ※3 パッシビティ
グレコローマンの消極性に対するペナルティー。積極的な選手に1ポイントを与え、消極的な選手の姿勢をスタンディングかパーテレポジションのいずれかを選択することができる。
 - ※4 パーテレポジション
両手、両膝、頭の5点のうち3点以上がマットに着いた姿勢。